

叙勲旭日単光章を受章

平尾中南の(故) 脇田太一郎さん



↑川添健町長から息子さんの脇田増光さんに伝達

12月5日、(故) 脇田太一郎さん(平尾中南集落)に、長年にわたる地方自治の振興発展に貢献された功績を賛え、叙勲旭日単光章が贈られ、川添健町長から息子の増光さんへ伝達されました。

同氏は、昭和62年4月から平成11年4月までの12年間にわたり長島町議会議員として在職されました。この間、同議会副議長、同議会総務企画教民常任委員会委員長、同議会建設経済常任委員会委員長などの要職を歴任し、円滑な議会運営に努力するとともに、常に高邁な政治信念のもとに活動を続け、長島町の産業振興、文化、福祉の向上など地方自治の振興発展に尽力されました。また、昭和56年7月から昭和59年6月、昭和62年7月から平成元年5月までにわたり長島町農業委員会委員を務め、遊休農地の賃貸借を積極的に進め、農家の経営規模拡大と経営安定に尽力されました。

島原・天草・長島架橋構想 九州西海岸軸構想推進講演会

3県架橋の実現に向けて

島原・天草・長島架橋と九州西海岸軸構想の推進講演会が12月10日、出水市のホテルで開催されました。

これは、島原・天草・長島架橋建設促進協議会などの主催で、この日は鹿児島、長崎、熊本3県の行政、経済関係者ら約250人が参加し、構想の重要性について認識を深めました。

同会会長の伊藤祐一郎鹿児島県知事は「構想が実現すると約3時間半で長崎と鹿児島が結ばれる。東日本大震災で代替道路の必要性が再認識されたとおり、構想実現は緊急・安心・安全のプロジェクト」とあいさつしました。



↑架橋実現に向けて訴える協議会会長の伊藤祐一郎鹿児島県知事

この日にあわせて、会場では442点の応募があった架橋構想絵画コンテストの入賞作品の展示と表彰式も行われました。鹿児島県の部の最優秀として、本町立平尾中学校2年生の高目真保莉さんと、汐見小学校2年生の小屋楓芽さんに、伊藤祐一郎鹿児島県知事から賞状が手渡されました。

中学生の部で表彰を受けた高目真保莉さん↓



↑小学生の部で表彰を受けた小屋楓芽さん